

クラス	Q311	担当教員	吉野 真紀
テーマ	心理臨床的アプローチと自己実現、心理アセスメント		
著書・論文	<p>【著書】『現代のエスプリ別冊 投影法の現在 ジェンダー問題と投影法』至文堂（2008；分担執筆）</p> <p>【論文】 児童思春期の性別違和における心理的支援—臨床心理士の立場から— 精神神経学雑誌（校正中）  ロールシャッハテストからみた性同一性障害 共著、心理臨床学研究 26-1（2008）</p>		
研究課題等	<p>児童思春期の神経症患者における短期心理療法（財）メンタルヘルス岡本記念財団研究報告集 23  （2012）</p> <p>【研究課題】 性別違和のある方の自己実現過程と心理的变化に関する研究、など</p>		
<b>ゼミナール概要</b>			
キーワード：自己実現、心理療法、心理アセスメント			
<p><b>目的、内容、方法、等：</b></p> <p>担当教員は、大学病院精神神経科にて多職種と連携しながら、様々な精神疾患に対する心理アセスメント・心理療法に従事し、また性別違和のある方々への支援に携わってきました。その中で、クライアントが悩みや生きにくさを抱え、それと付き合いながらどう自分らしく選択して豊かに生きていくか（自己実現）、ということを支援の軸にしています。</p> <p>医学的診断についての知識を学習する一方、クライアントの心理的問題や生きづらさについて臨床心理学的な見立てをもちながら理解を深め、支援に努めることが心理臨床の専門家の仕事であると考えます。そのひとつの方法としての臨床心理アセスメント（投影法）や、様々な心理臨床的アプローチ（心理療法）があります。ゼミでは、それぞれが興味関心のあるテーマについて文献や事例などを題材に、精読、発表、フィードバック、ディスカッションを通して検討し、学びを深めることを目的とします。クライアントが自分らしく人生を選択し豊かに生きていくためにできる支援とは何かを考えると同時に、他者支援に必要な素地として自己を知ることとも体験的に学んでもらいたいと思います。</p> <p><b>授業計画：</b></p> <p>3年次には、文献や関連論文の抄読やディスカッションを通して基礎知識を習得します。頭の中に浮かんだ連想や疑問を頭の中にとどめておくのではなく、言語化して表出し、他者とやりとりをする練習を積極的にゼミで実践することを求めます。また、頭で理解するだけでなく、自分自身や身近な人とかかわりや体験と照らし合わせながら考えることが大切です。ゼミ学習を通して、自分自身を知ることと他者（仲間）を知ることが体験的に積極的に学んでください。後期には、卒業研究に向けて、各自興味関心のあるテーマの論文を持ち寄り、精読して発表し、研究手法の学習や研究テーマを絞っていくことを目指します。</p> <p>4年次には、それぞれのテーマに沿って研究を具体化し進めます。関連論文を積極的に読み込みながら論文の書き方を勉強し、ゼミでの報告を重ね、卒業論文の執筆を行います。</p>			
<b>担当教員からのメッセージ</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ゼミでは、卒業研究テーマに取り組むことはもちろん共通の目的ですが、「自分自身を知ること」「他者・仲間を知ること」「関係性を知ること」を通して、人を知る臨床心理学の醍醐味を味わって下さい。</li> <li>◆ 心理療法や心理アセスメントと自己実現を主なテーマに挙げていますが、その他の領域にも広がりをもつテーマであると考えています。学びの過程で興味関心をもったテーマを追求し、主体的に取り組むことを応援します。</li> <li>◆ 自分のこととして能動的にゼミに参加し自分を表現すること、仲間の表現を尊重しメッセージに耳を傾けること、を期待します。楽しく交流しながら研究を進められるようにともに頑張りましょう。</li> </ul>			